

児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2023年2月28日

事業所名: LUMO HAT神戸校

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	狭いスペースではあるが、見発・放デイを分けてメニューを組むよう工夫している。	
	2 職員の適切な配置	子どもの定員に対しての人数を満たしている。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設が1階にあるため、段差はなく、収納場所やトイレなども難しい配置をしていない。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子どもたちに合わせた空間作りを工夫し確保している。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	共有・振り返りmeetingを日々行っている。	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	オンラインmeetingを通して、改善策の話し合いを行っている。	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	週1のオンラインmeeting、隔週の実技研修を行っている。	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の送迎時でコミュニケーションを取ること、保護者の願いに沿った計画の作成をしている。	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	小集団のなかで、チーム分けなどを行っている。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画を作成して配布している。	
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	年齢、特徴に合わせて支援している。	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフ同士で日々行っている。	
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日、長期休暇に応じたメニューを取り入れている。	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	スタッフ同士で日々アイデアを出し合い行っている。	
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝のmeetingで日々行っている。	
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	スタッフないでの共有ツールを活用。翌日の朝、meetingを行っている。	
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳、校舎内ノートに日々記録。	
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	行っている。	
	関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達管理責任者がおこなっている。
		2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし。
		3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし。
4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		保護者のニーズによって対応する。	
5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供		保護者のニーズによって対応する。	
6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進		挨拶に伺い、連携している。	
7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供		コロナ感染を防ぐため実施していない。	
8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		招待を受けていないため、実施なし。	
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、日々のコミュニケーションで行っている。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリング面談、送迎時に行っている。	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	話す、伝えられる前にスタッフ間で共有している。	
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	契約時、連絡帳などを通して行っている。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	最近の悩みがあるか、送迎時に聞くようにしている。	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施なし。	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	できる限り寄り添い提供している。	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日々子どもたちと関わる時に心掛けたり、連絡帳への日々の様子の記載、送迎時に話をしよう配慮している。	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月お便りという形で、連絡ツールを用いて配信している。	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報は全て鍵付きの欄に収納したり、ブログ等で写真を記載する際は、契約時に必ず同意書に可否を記載して頂くなど徹底している。	
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	災害時の避難場所、避難ルートを明確にし、すぐに確認できる場所に貼付している。	
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待を防止を徹底している。	
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	支援計画に記載し、保護者にもご理解を頂いている。	
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事をする場面がないが、子のアレルギー情報を把握している。	
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの報告は、随時行っている。	